

第9期いきいきかぬま長寿計画

(令和6年度～令和8年度)

笑顔あふれるやさしいまち
～健康長寿のまち“かぬま”を目指して～



令和6年3月

はじめに



現在、全国的に人口が減少に転じる中でも高齢化率は伸び続け、令和 7 (2025) 年には「団塊の世代」すべての人が 75 歳以上の後期高齢者となります。さらに、令和 22 (2040) 年には「団塊ジュニア世代」すべての人が 65 歳以上となり、本市の高齢化率は 40%を超えると予測されています。

人生 100 年時代と言われる中、高齢者の生活が充実し、笑顔で暮らしていくには何より健康であることが大切です。そのため「第 9 期いきいきかぬま長寿計画」では「笑顔あふれるやさしいまち～健康長寿のまち“かぬま”を目指して～」を基本理念に掲げ、介護予防・フレイル対策を効果的・効率的に推進するなど高齢者福祉の充実を図るとともに、介護保険制度の持続可能性を確保しながら介護サービスの充実・強化に取り組んでまいります。

また、令和 5 年 6 月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が制定されました。令和 7 年には高齢者の 5 人に 1 人が認知症になると予想される中、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるようなまちづくりを進めていきます。

本計画においては、これまで取り組んできた「地域包括ケアシステム」について、さらなる深化・推進を図るとともに、共生社会の実現に向け認知症施策の充実と推進を図っていきます。

計画の推進には、行政や関係団体はもとより、事業所、さらには高齢者を身近で支える地域の皆様の連携・協働が不可欠です。今後とも、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和 6 年 3 月

鹿沼市長 佐藤 信

目 次

～ 本 編 ～

第1部 計画の概要

1	計画策定の背景と目的	1
2	計画の位置付け	1
3	計画期間	2
4	日常生活圏域の設定と地域包括支援センター	2
5	計画の策定体制	3
6	公表と普及啓発、達成状況の点検評価	3

第2部 高齢者を取りまく現状と将来推計

第1章 高齢者人口の現状と将来推計

1	高齢者の人口・高齢化率	4
2	高齢者の世帯状況	5
3	高齢者のいる世帯の住居の状況	6
4	健康寿命の状況	6
5	介護保険被保険者数の推移	7

第2章 各種調査結果の概要

1	介護予防・日常生活圏域二一ズ調査（二一ズ調査）結果の概要	8
2	在宅介護実態調査の集計結果の概要	9

第3章 第8期計画の進捗状況と課題

1	生きがいづくりと社会参加の推進	10
2	安心して暮らせるまちづくりの推進	11
3	地域支援事業の推進	11
4	介護サービスの充実・強化	12
5	介護保険制度の円滑な推進	13

第3部 基本理念と基本目標

1	基本理念	14
2	計画の基本目標	14
3	施策体系	16

第4部 基本施策

第1章 生きがいづくりと社会参加の推進

基本目標 1

1-①	生きがいと交流の場づくり	17
1-②	社会参加の推進	19

第2章 介護予防と在宅生活支援の推進

基本目標 2

2-①	高齢者が主体的に介護予防に取り組む体制づくり	21
2-②	高齢者の生活を支える多様なサービスの構築	23
2-③	介護を担う家族への支援	25
2-④	在宅福祉サービス（介護保険外）の推進	27

第3章 支えあえる地域づくりの推進	基本目標 3
3-① 地域包括支援センターの機能強化	28
3-② 住み慣れた地域での助け合いの推進	30
3-③ 在宅療養を支える多職種連携体制の強化	31
第4章 認知症施策・権利擁護施策の推進「鹿沼市認知症施策推進計画」	基本目標 4
4-① 認知症になっても自分らしく暮らし続ける事ができるまちづくり	33
4-② 高齢者の権利擁護に関する取り組みの充実	36
第5章 介護サービスの充実・強化	基本目標 5
5-① 適切な要介護・要支援認定	38
5-② 介護（介護予防）サービスの充実	40
5-③ 施設・居住系サービスの整備計画	47
第6章 介護保険制度の円滑な推進	基本目標 6
6-① 第1号被保険者介護保険料の設定	50
6-② 介護保険者機能の強化	54
6-③ 介護保険制度の持続的な運営	57

～ 資 料 編 ～

1 計画の策定体制と策定経過	60
2 鹿沼市保健福祉審議会委員名簿	61
3 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の集計結果	62
4 在宅介護実態調査の集計結果	83
5 用語解説	98